



Ideas & Chemistry

2019.11.7

2019年度第2四半期 決算説明



Catalyzing the Unimagined

想像を超える化学反応を。



Ideas & Chemistry

www.toyobo.co.jp

東洋紡株式会社

目次

I . 2019年度第2四半期決算の概況

II . 2019年度業績見通し

III . 2018年度中期経営計画進捗



I . 2019年度第2四半期 決算の概況

決算のポイント

上期実績

- ◆ 営業利益 111 億円（4.8%増）、当期純利益 27 億円（32.0%減）
- ◆ 成長ドライバーの“コスモシャインSRF”、セラコン用離型フィルム“コスモピール”は好調
- ◆ エアバッグ用基布は、火災による原糸調達と需要減の影響あり

通期予想

- ◆ 上期までは計画線上にあるも、今後の不透明な外部環境を踏まえ、通期の予想営業利益 220 億円は据え置く

(億円)

	2018年度			2019年度		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	1,647	1,720	3,367	1,649	1,851	3,500
営業利益	106	111	217	111	109	220
特別損益	▲ 31	▲ 146	▲ 177	▲ 48	75	28
親会社株主に帰属する 当期純利益	39	▲ 45	▲ 6	27	113	140

直近予想
(19/08)

3,500

220

70

170

決算概要 PL・CF

(億円)

	2018年度		2019年度	増 減	
	上 期	下 期	上 期	金 額	%
売上高	1,647	1,720	1,649	+2	+0.1%
営業利益	106	111	111	+5	+4.8%
(率)	6.4%	6.5%	6.7%	-	-
経常利益	87	90	90	+2	+2.5%
特別利益	6	9	0	▲ 5	-
特別損失	37	155	48	+11	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	39	▲ 45	27	▲ 13	▲ 32.0%
EPS(円)	44.1	▲ 50.9	30.0	-	-
減価償却費	78	80	81	+3	+3.3%
設備投資	117	138	144	+26	+22.5%
営業CF	52	26	145	+93	+177.5%

為替レート (円/US\$)

110

112

109

国産ナフサ (千円/kl)

51

48

43

営業利益の増減要因



	18/上	19/上
為替レート (円/US\$)	110	109
国産ナフサ (千円/kl)	51	43

決算概要 BS

(億円)

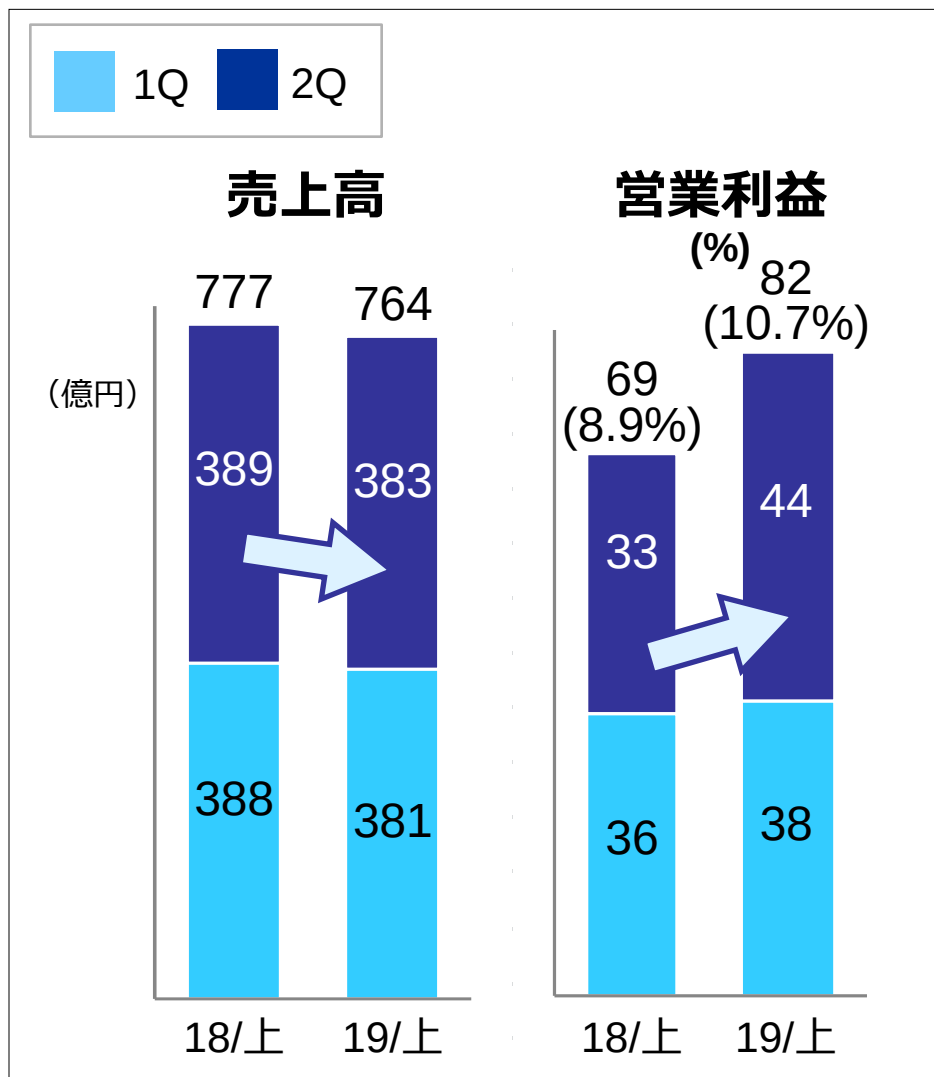
	18/3末	19/3末	19/9末	増 減 19/3 ⇒ 19/9
総資産	4,455	4,610	4,749	+139
現預金	260	223	335	+112
固定資産	2,589	2,679	2,725	+46
純資産	1,845	1,812	1,774	▲ 39
自己資本	1,806	1,766	1,723	▲ 43
(利益剰余金)	561	519	508	▲ 10
非支配株主持分	40	46	51	+5
有利子負債	1,456	1,648	1,835	+187
D/E レシオ	0.81	0.93	1.07	-

決算概要 セグメント別

(億円)

	売上高			営業利益			
	18/上	18/下	19/上	18/上	18/下	19/上	上期 増減
フィルム・機能樹脂	777	786	764	69	68	82	+13
産業マテリアル	327	339	330	19	7	5	▲ 14
ヘルスケア	159	188	190	19	32	28	+9
繊維・商事	317	328	301	1	9	▲ 1	▲ 2
不動産・その他	67	79	65	11	11	13	+2
消去・全社	-	-	-	▲ 13	▲ 16	▲ 15	▲ 2
合計	1,647	1,720	1,649	106	111	111	+5

フィルム・機能樹脂



● 包装用フィルム

- ・環境配慮商品は好調も、天候不順の影響あり

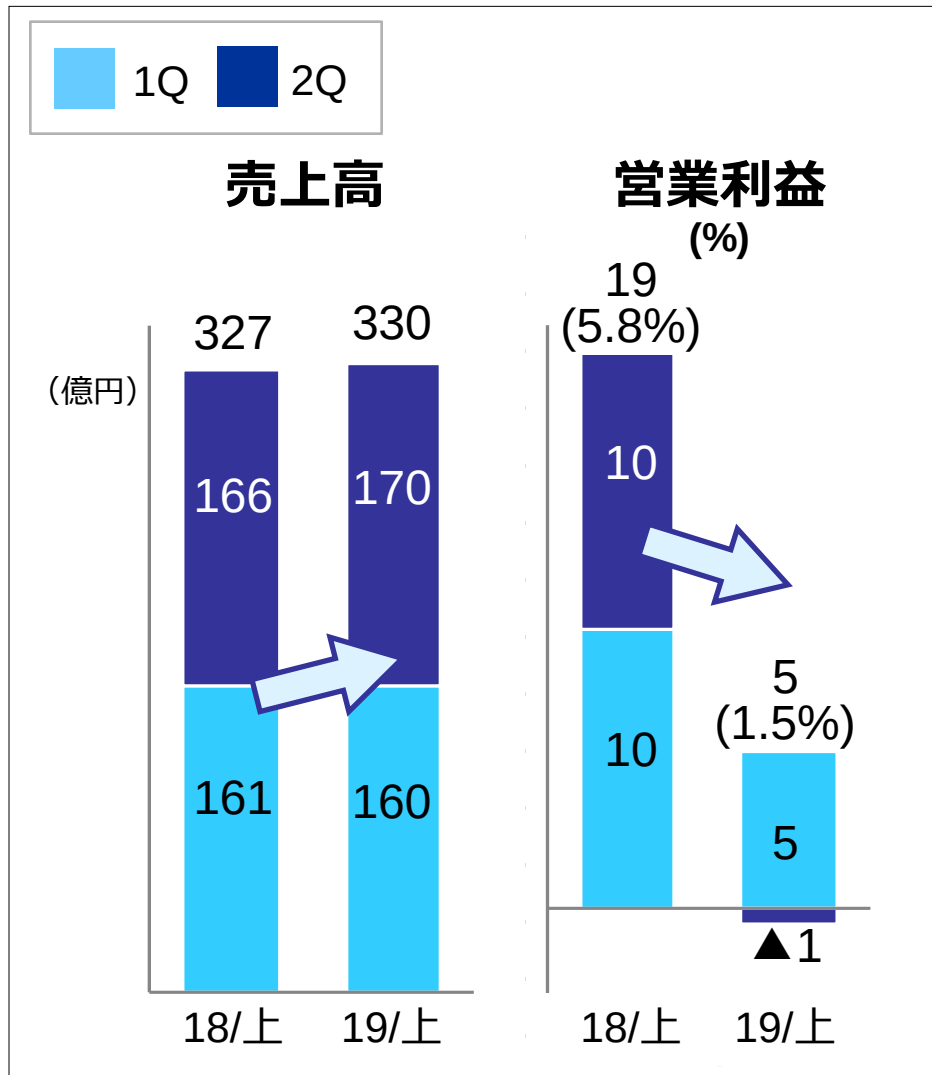
● 工業用フィルム

- ・“コスモシャインSRF”は、販売好調
- ・セラコン用離型フィルム“コスモピール”は堅調

● 機能樹脂

- ・ポリオレフィン用接着性付与剤“ハードレン”は、販売を伸ばす
- ・エンプラは、中国向け非自動車用途が不調

産業マテリアル



● エアバッグ用基布

- ・火災の影響と需要減により苦戦

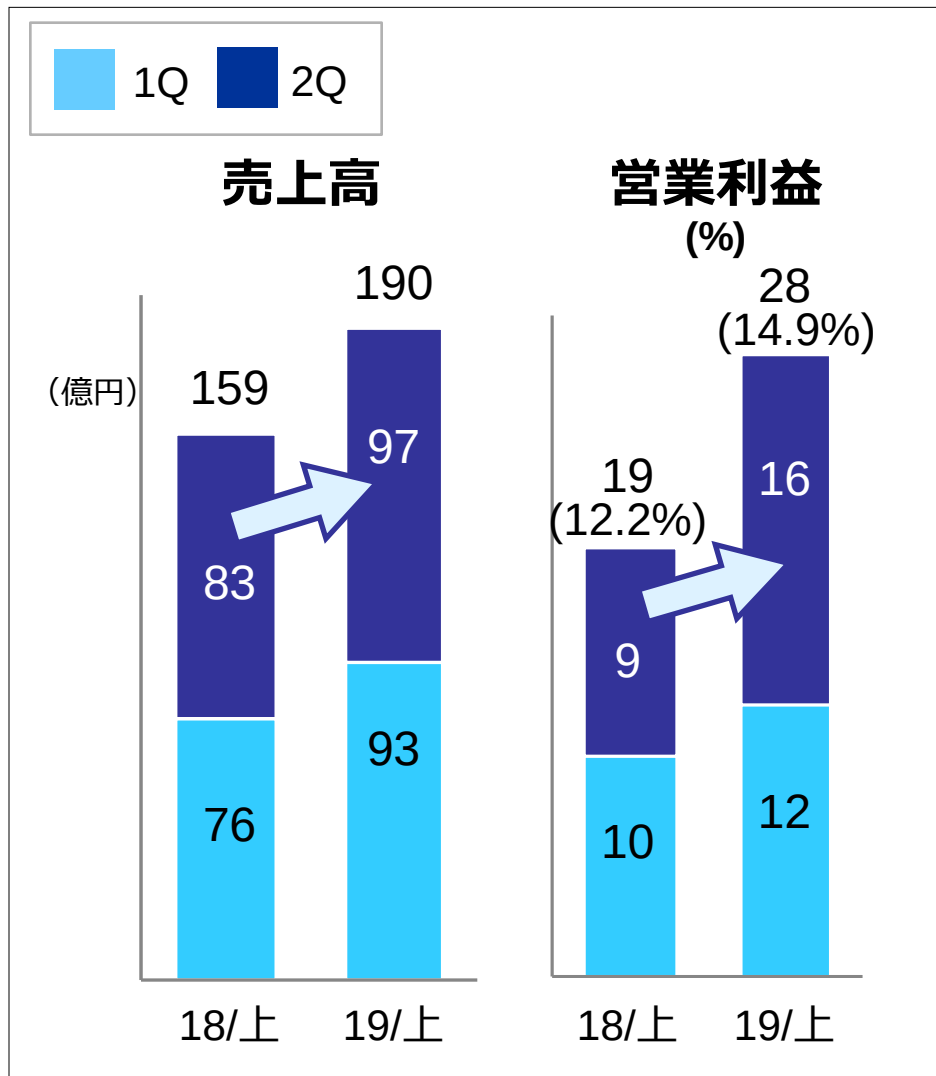
● 生活・産業資材

- ・“ブレスエアー”は、火災の影響を受け、販売減
※2019年9月、新工場稼働

● スーパー繊維

- ・“イザナス”は、ロープ用途が好調
- ・“ザイロン”は、自転車タイヤ用途などで販売拡大

ヘルスケア



● バイオ

- ・診断薬用酵素は、海外へ販売拡大

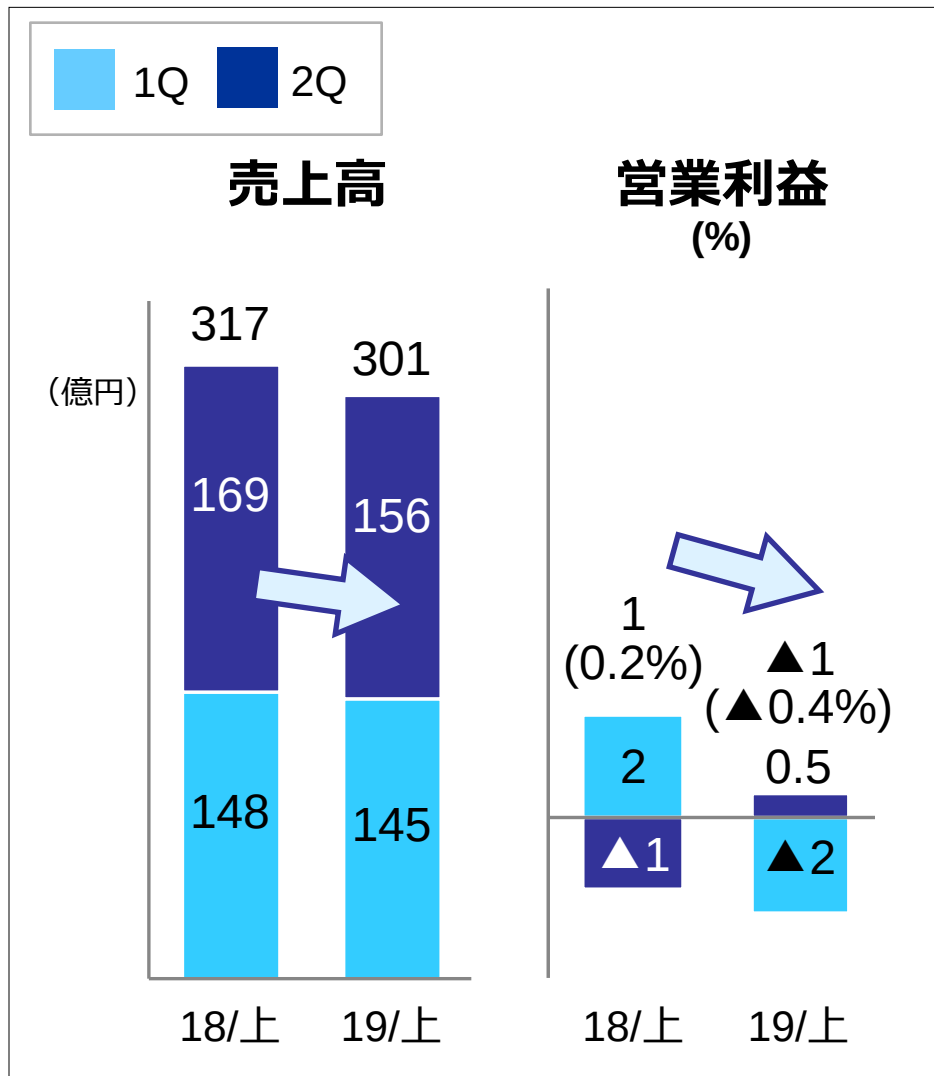
● 機能膜

- ・アクア膜は、交換膜の出荷前倒しもあり好調

● 機能フィルター

- ・VOC処理装置・エレメントは、国内外で販売を伸ばす

繊維・商事



● 東洋紡STC（繊維）

- ・中東向けトープは、市況回復により販売を伸ばす
- ・ユニフォーム用途は、企業向け制服が堅調

● アクリル繊維

- ・産業資材用途ヘシフト中も、原料価格変動の影響を受け、需要低迷



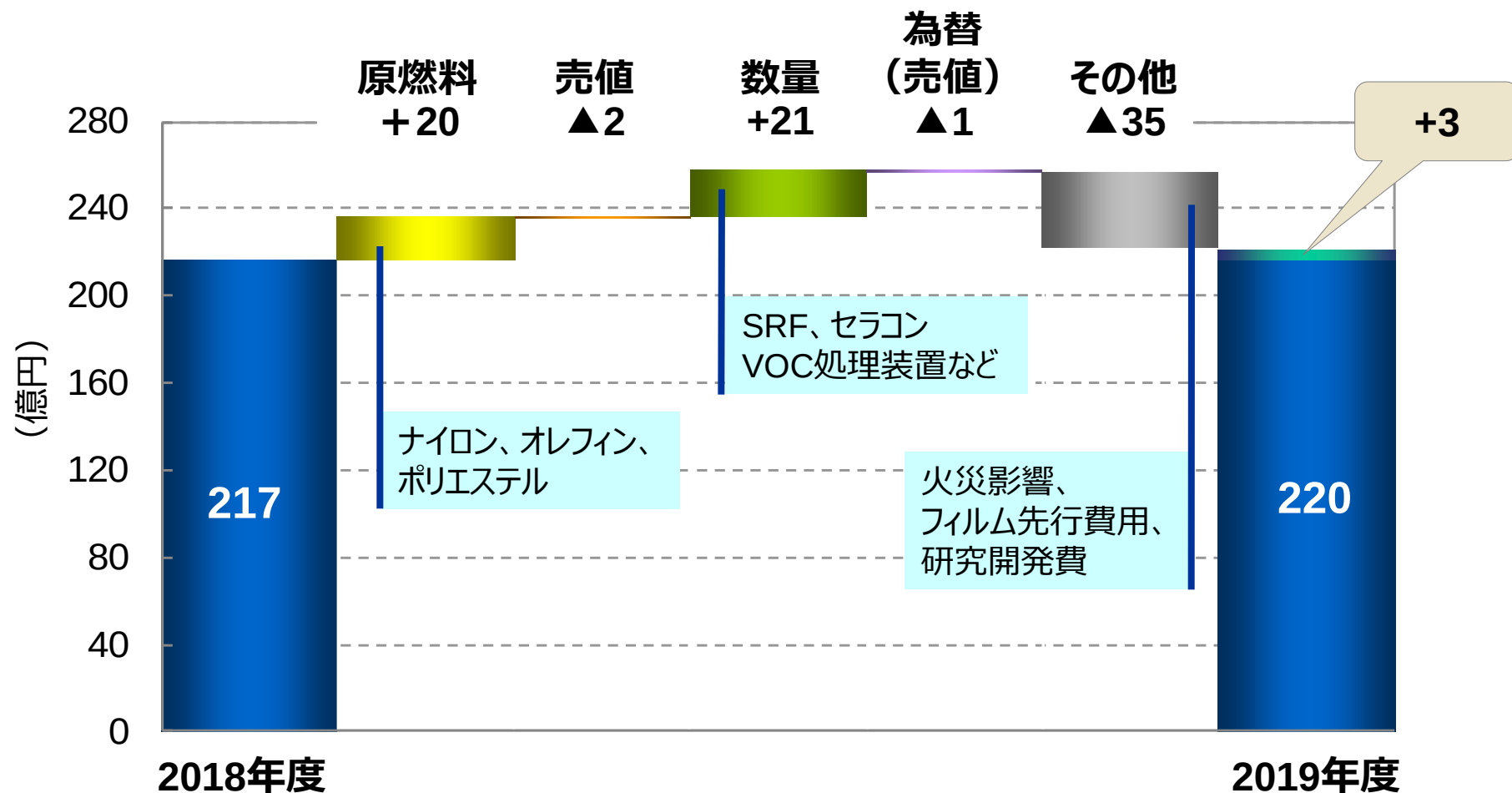
Ⅱ．2019年度業績見通し

2019年度業績見通し

(億円)

	2018年度	2019年度			増 減		直近予想 (19/08)
	実績	上期	下期	見通し	金 額	%	
売上高	3,367	1,649	1,851	3,500	+133	+4.0%	3,500
営業利益	217	111	109	220	+3	+1.3%	220
(率)	6.5%	6.7%	5.9%	6.3%	-	-	6.3%
経常利益	178	90	90	180	+2	+1.2%	180
特別損益	▲ 177	▲ 48	75	28	+205	-	70
親会社株主に帰属する 当期純利益(純損失)	▲ 6	27	113	140	+146	-	170
EPS (円)	▲ 6.8	30.0	127.7	157.7	-	-	191.5
減価償却費	158	81	84	165	+7	+4.3%	170
設備投資	255	144	156	300	+45	+17.6%	365
為替レート (円/US\$)	111	109	108	108			112
国産ナフサ価格 (千円/kl)	49	43	40	42			47

営業利益の増減要因



	2018年度	2019年度
為替レート (円/US\$)	111	108
国産ナフサ (千円/kl)	49	42

セグメント別見通し

(億円)

	売上高		営業利益			直近予想 (19/08)
	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度	増 減	
	実績	見通し	実績	見通し		
フィルム・機能樹脂	1,562	1,660	137	154	+17	148
産業マテリアル	665	650	26	12	▲14	24
ヘルスケア	347	390	52	56	+4	54
繊維・商事	646	650	9	7	▲2	8
不動産・その他	147	150	22	23	+1	21
消去・全社	-	-	▲29	▲32	▲3	▲35
合計	3,367	3,500	217	220	+3	220



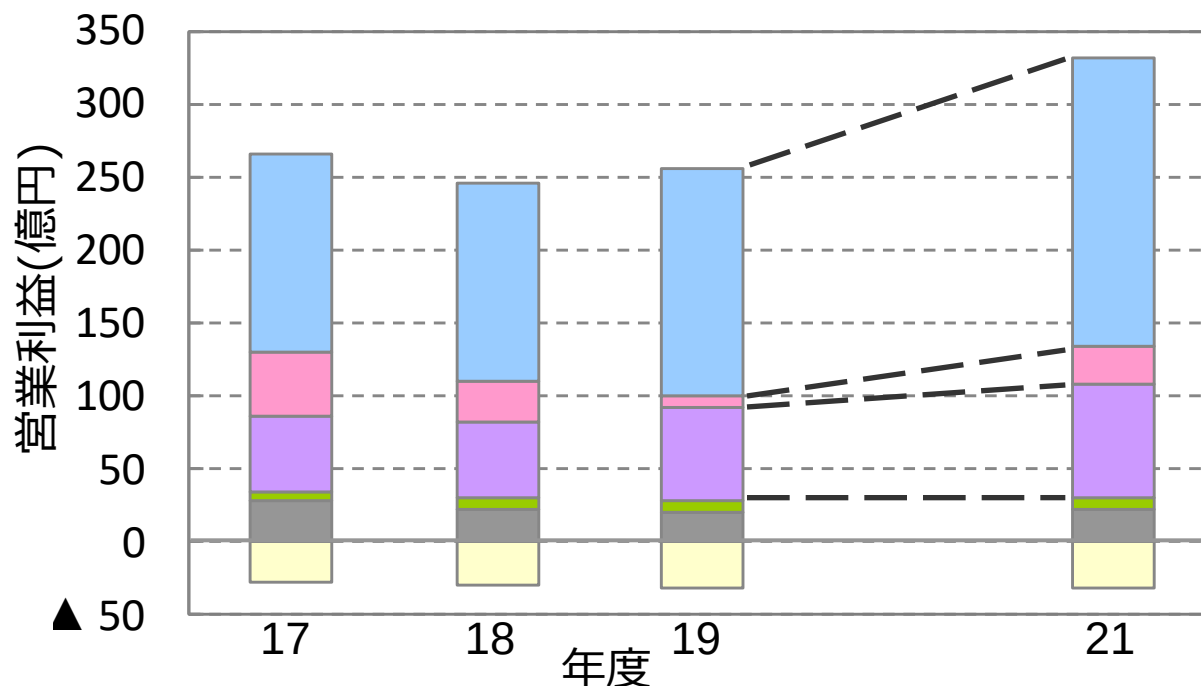
Ⅲ. 2018年中期経営計画進捗

定量目標

営業利益300億円へ再チャレンジ

不断の
ポートフォリオ改革

■ フィルム・機能樹脂 ■ 産業マテリアル ■ ヘルスケア
■ 繊維・商事 ■ 不動産・その他 ■ 消去・全社



	定量目標
売上高 (億円)	3,750
海外売上高比率 (%)	35.0
営業利益 (億円)	300
営業利益率 (%)	8.0
親会社株主に帰属する 当期純利益 (億円)	160
ROE (%)	> 8.0
D/Eレシオ	< 1.0

「フィルム&コーティング」「ヘルスケア&ウェルネス」の成長と
「モビリティ」の回復

フィルム&コーティング

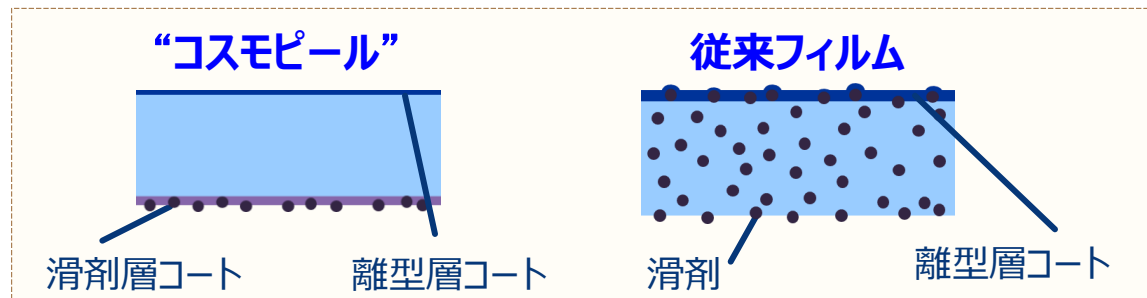
“コスモシャインSRF”

- ・上期は約20%増収
- ・液晶TV用途に販売を伸ばす
- ・2020年度5月 3号機量産開始予定。生産能力約1.5倍に
- ・2021年度 シェア40%をめざす
- ・非吸湿性、耐久性に優れ、価格競争力もある
- ・液晶パネル大型化、オープンセル化、ベゼルレス化で、ポリエステル優位性顕著に



セラコン用離型フィルム“コスモピール”

- ・上期は約15%増収
- ・スマホ、タブレット、車載用に展開
- ・2019年度10月 新加工設備稼働開始。生産能力約2倍に
- ・2021年度 ハイエンド品のシェア30%をめざす
- ・平滑性、離型性に優れる



フィルム & コーティング

帝人(株)のフィルム子会社2社を買収

■ 買収内容

(18年12月期)

・ 買収会社

	売上高	営業利益	純資産
帝人フィルムソリューション株式会社	261億円	13.8億円	84億円
P.T. Indonesia Teijin Film Solutions	25百万USD	0百万USD	15百万USD

・ 買収価格 約100億円 (株式対価)

・ 新会社 2019年10月1日付 全株式を取得

東洋紡フィルムソリューション株式会社	生産拠点：宇都宮
PT. INDONESIA TOYOBO FILM SOLUTIONS	生産拠点：インドネシア

■ 狙い

高機能フィルム製品の開発・生産能力強化、技術融合による新製品創出

- ・セラコン用離型フィルム
 - ・PENフィルム（自動車用絶縁フィルム、FPCなどの工程フィルム）
 - ・食缶用ラミネーションフィルム
- などの技術獲得

海外含む、生産拠点の拡充 物流拠点の相互利用

モビリティ、ヘルスケア & ウェルネス

■ モビリティ

エアバッグ用基布

- ・代替原糸により、基布販売を継続
- ・2020年度に、原糸の新工場再建を予定



エンジニアリングプラスチック

- ・海外売上高比率50%に。さらに、拡大中



■ ヘルスケア & ウェルネス

診断薬用酵素

- ・自己血糖センサー用酵素 グローバルでシェア約35%
- ・糖尿病患者数は、増加率4%/年



医用膜（人工透析用ほか）

- ・セルローストリアセテート(CTA)素材 優れた生体適合性
- ・透析患者数は、世界で増加率7%/年



環境



セフレックス

欧州コンソーシアム「CEFLEX」(Circular Economy for Flexible Packaging) に参加

- ・2020年までに、欧州の軟包装分野の循環型経済の実現を推進するロードマップを確立
- ・2025年までに、使用済み軟包装を回収・分別・リサイクルするインフラ構築



“サイクルクリーン” “TOYOBO GS Catalyst”

“スペースクリーン”

“エコシアー”

リサイクル

リデュース



VOC処理装置

空気清浄化

環境に関連した
製品比率
10%



PEF

“バイオプラナー”

バイオマスプラスチック
生分解性プラスチック

“APEXA”

水不足の解消

海水淡水化膜

クリーンエネルギー

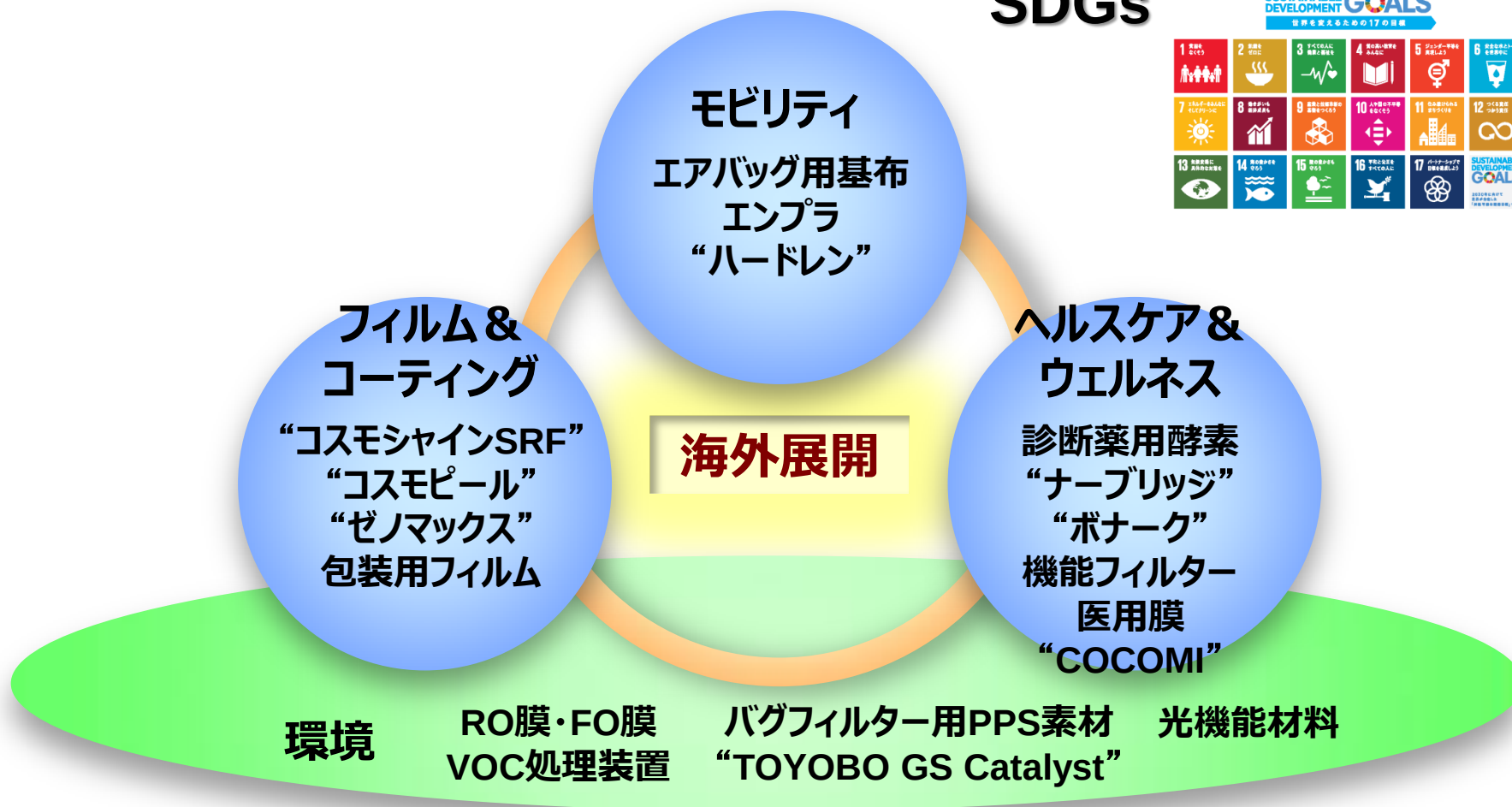
正浸透膜 (FO膜)



社会に貢献する価値づくり『順理則裕』

SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えようとする17の目標



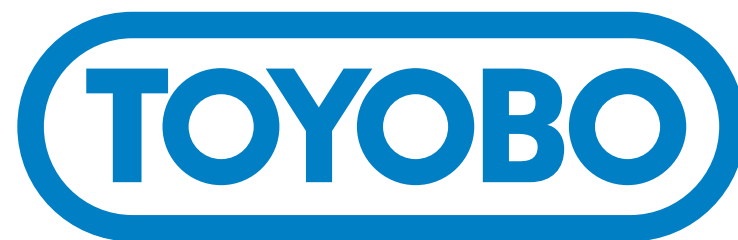
～ 共有価値の創造 Creating Shared Value (CSV) ～

環境、ヘルスケア、高機能で、社会に貢献する価値を、創りつづけます

ご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社



Ideas & Chemistry

All Rights Reserved